【平成29年度　日本人等民間奨学金リスト】

※　このリストは、平成29年度に学内で募集実績のあった奨学金一覧です。今年度も必ず募集があるとは限りません。また、募集条件も変更になる可能性もありますので、必ず募集要項等で詳細を確認してください。
※　奨学財団から募集依頼がある度に、掲示板および学生支援課ウェブサイトでお知らせしています。

案内のあった時期	申請方法	奨学会等名	給付／貸与	金額（円）	受給期間	出願資格等											全体での採用者数	大学推薦枠	学内申請者数	大学推薦者数	大学採用者数
						課程				年齢	専門分野	併用条件	学力優秀	経済困難	面接	その他の主な要件					
						学部	修士	博士	研究生												
4月	大学推薦	（一財）上田記念財団	給付	30,000円／月額 （4月・7月・10月・翌年1月に3か月分をまとめて支給）	2年間	○ 3年生	○ 1年生				土木・建築系	併用可	○	○		・土木系・建築系の大学学部（3年）または大学院（修士（博士課程前期））で学ぶ者 ・社会資本の維持管理、補修・補強についての研究を志す者 ・人物、学力ともに優れ、かつ健康であって、経済的援助を必要とする者 ・過去に当該財団からの奨学金の支給を受けたことがない者	36名	1名	1名	1名	1名
4月	大学推薦	（公財）味の素奨学会	貸与	学部：自宅30,000円、自宅外35,000円／月額（無利子） 院：自宅40,000円、自宅外45,000円／月額（無利子）	最短修業年限まで	○ 3,4年生	○	○			理系	併用可	○	△ 資料提出		・成績抜群にして、身体強健、志操堅固な者 ・採用された場合、大学院（修士・博士課程）へ進学を目指す女性毎年約1名を対象に貸与された全額を免除（最大2年間を限度とする）する制度（鈴木ナカ記念奨学制度）あり	15名	2～3名	0名	0名	0名
4月	大学推薦	（一財）関育英奨学会	貸与	30,000円／月額（無利子）	最短修業年限まで	○ 2年生							○	○		・人物、学業とも優秀かつ健康でありながら、学費の支弁が困難と認められる者 ・各種行事等に積極的に参加すること	20名	1名	0名	0名	0名
4月	大学推薦	（公財）春秋育英会	給付／貸与	30,000円／月額 （内訳　給付：20,000円、貸与：10,000円（無利子））	最短修業年限まで	○				修了時26歳を超えない		併用可	○	○		・原則として保護者の年収が1,000万円以下 ・奨学金は交付金額30,000円のうち20,000円を給付、10,000円を貸与（無利子）される ・日本在住の保証人が得られる者 ・採用後、首都圏在住の奨学生は、毎年4月に財団にて面接を行う	記載無	2名	6名	2名	1名
4月	大学推薦	（公財）高村育英会	給付	30,000円／月額	最短修業年限まで	○ 1年生						給付奨学金との併用不可	○	○		・入試成績上位2／3以内の者または推薦入学等それに準ずる者 ・家計維持者の課税所得300万円以下（給与収入600万円程度以下） ・次のいずれかに該当すること。母子、父子世帯・障害者のいる世帯・長期療養者（6か月以上）のいる世帯・火災、風水害、盗難等の著しい被害を受けた世帯・生活保護世帯	16名	1名	0名	0名	0名
4月	大学推薦	MHPS みらい奨学金（三菱日立パワーシステムズ理系女性技術者育成支援奨学金）	給付	120,000円／月額	2年間 （在籍期間中）		○ 1年生（女子学生）				機械、電気・電子、化学等の理工系分野	給付型奨学金との併用不可	○	○	○	・修士（博士前期）課程に正規生として在籍する女子学生 ・将来、火力発電システム・環境分野におけるエンジニアとしてグローバルに活躍する意欲のある者 ・本協会又は寄付者の要請に応じ、アンケート等への回答、交流会・インターシップ等への参加義務あり	10名	1名	1名	1名	1名
4月	大学推薦	富山県奨学生《富山県》	貸与	自　宅：45,000円／月額（無利子） 自宅外：51,000円／月額（無利子）	最短修業年限まで	○						母子父子寡婦福祉貸付金、貸与型奨学金、日本学生支援機構奨学金（日本学生支援機構奨学金のみ特例で併用可となる場合あり）	○	○		・富山県内に保護者等が居住している者 ・評定平均値3．5以上 ・経済的理由による就学困難家庭：（一例）収入基準4人世帯：収入の目安865万円 ・日本学生支援機構奨学金との併用貸与を認める場合について、第1種のみ採用され①～③のすべてを満たす者（若干名） ①学業成績、評定4.0以上②世帯の収入が非常に少ない③以下のいずれかに該当 ・母（父）子世帯・保護者が長期療養者あるいは障害者・災害等の被害を受けた世帯	65名	学内選考無	0名	0名	0名
4月	大学推薦	石川県育英資金《石川県》	貸与	44,000円／月額（無利子）	最短修業年限まで	○						日本学生支援機構との併用不可（併願可）	○	○		・保護者が石川県内に現に引き続き3年以上居住していること ・勉学意欲があり、かつ、学資の支弁が困難な者 ・年収の上限あり（募集要項参照）一例：4人家族　年収上限1,030万円程度	80名	学内選考無	0名	0名	0名
4月	大学推薦	福島県奨学資金《福島県》	貸与	35,000円／月額（無利子）	最短修業年限まで	○						貸与奨学金との併用不可	○	○		・福島県内の高校を卒業した者で、住所を移転するまで県内に引き続き6か月以上住所を有していること。または県外の高校を卒業し、卒業月に福島県奨学資金を受けていた者 ・1年生：高校時の最終2カ年の評定が平均3．0以上 ・2年生以上：申込時までの大学の成績が本人の所属する学部の平均水準以上 ・家計基準が所定の基準以下	33名＋予約採用内定（90名）の辞退者	学内選考無	0名	0名	0名
4月	大学推薦	茨城県奨学生《茨城県》	貸与	自宅：36,000円／月額（無利子） 自宅外：40,000円／月額（無利子）	最短修業年限まで	○						日本学生支援機構との併用不可	○	○		・茨城県内に居住する方の子弟であること ・前2カ年の成績評定が平均3．0以上であること。（特例あり） ・家計基準が所定の基準以下の者（募集要項参照） ・申請時、留年者は申し込み不可	80名程度	学内選考無	0名	0名	0名
4月	大学推薦	（公財）中村積善会 給費奨学金	給付	30,000円／月額	最短修業年限まで	○	○	○		40歳まで （出願時）		併用可	○	○		・学部1年生：入学前直近の成績が平均水準以上 ・学部2年生以上：前年度までの成績が平均水準以上 ・大学院：大学ならびに大学院の成績が特に優れ、将来高度な社会人・職業人として活動する能力があると認められる者 ・家計基準（共通）：日本学生支援機構第一種の家計基準を満たす者 ・10月入学者、学業に支障のあるような定職またはアルバイトに従事している者、勤務先からの派遣学生は応募不可	記載無	2名（H29は追加推薦枠1名あり）	10名	2名	2名
4月	大学推薦	（公財）中村積善会 給費併用型貸費奨学金	給付／貸与	80,000円／月額 （内訳　給付：30,000円、貸与：50,000円（無利子））	最短修業年限まで	○	○	○		40歳まで （出願時）		給付奨学金との併用可、貸与奨学金との併用不可	○	○		・学部1年生：入学前直近の成績が平均水準以上（平均水準以下でも認められる場合がある） ・学部2年生以上：前年度までの成績が平均水準以上（平均水準以下でも認められる場合がある） ・大学院：大学ならびに大学院の成績が優れ、将来高度な社会人・職業人として活動する能力があると認められる者 ・家計基準：日本学生支援機構第二種の家計基準を満たす者	記載無	2名（H29は追加推薦枠1名あり）	6名	2名	1名
4月	大学推薦	（公財）川村育英会	給付	学部：30,000円／月額 修士：60,000円／月額	8月から最短修業年限まで	○ 2年生	○ 1年生				化学系		○	○		・学業優秀、品行方正、身体健強でありながら経済的理由により学資の支弁が困難と認められる者 ・有機化学、有機合成、高分子化学、高分子合成、無機化学、光化学、触媒化学、計算化学、液晶、界面化学、物理化学、生物化学、材料化学、分析化学、画像化学、化学工学などの化学系、および機械工学、電気電子工学、制御工学を専攻 ・採用された場合、8月から支給 ・生計を一にする家族の年間収入（祖父母の年金収入は除く）が600万円以下 ・成績証明書記載の学業成績に占めるA・優以上の最優等成績の割合が50%以上 ・奨学生証授与式及び交流会に原則出席すること	学部7名 院15名	学部1名 院1名	学部1名 院5名	学部1名 院1名	学部0名 院0名
4月	大学推薦	岐阜県選奨生奨学金 《岐阜県》	貸与	32,000円／月額（無利子） （※日本学生支援機構奨学金貸与者は16,000円／月額（無利子））	1年毎の継続審査あり	○						岐阜県高等学校奨学金、岐阜県子育て支援奨学金、母子及び父子並びに寡婦福祉法による修学資金との併用不可	○	○		・岐阜県内に住所を有する者の子弟（本人のみ岐阜県内に住所を有する場合は該当しない） ・修学に十分耐え得る健康状態であること、経済的理由により修学が困難であること ・日本学生支援機構の奨学金を併せて受ける場合は、減額給付 ・成績基準：1年生ー前最終学年3.5以上、2年生以上ー全学年平均成績良以上	記載無	学内選考無	0名	0名	0名
4月	直接応募	あしなが育英会 （病気・災害・自死遺児等）	貸与	一般40,000円／月額（無利子） 特別50,000円／月額（無利子） （3ヶ月ごとに3ヶ月分支給）	最短修業年限まで	○				25歳未満		併用可		○	○	・病気・災害・自死遺児又は保護者が著しい後遺障害を負っており、経済的に困難なる家庭であること ・1泊2日の面接試験あり ・財団主催行事に必ず参加できること	160名				2名
4月	直接応募	在日本朝鮮人教育会	給付	学部1年生：10,000円／月額 学部2年生以上：15,000円／月額	1年間 （再審査あり）	○				30歳未満		給付奨学金との併用不可			○	・在日朝鮮人学生（国籍不問。朝鮮半島にルーツを持つ学生） ・本国からの留学生は不可	記載無				
4月	直接応募	（公財）野島財団	給付	50,000円／月額	4月から最短修業年限まで	○ 2年生						併用不可	○		○	・学業に対して熱意をもって取組、社会に対する貢献意欲の高い者 ・1次選考合格者に対して面接を実施	7名				
4月	直接応募	清流の国ぎふ大学生等奨学金 《岐阜県》	貸与	30,000円／月額（無利子）	最短修業年限まで	○						併用可	○	○		・岐阜県内の高等学校を卒業した学部生で、大学卒業後に岐阜県内で就業する意思があり、かつ学業成績が優秀でありながら、経済的理由により修学が困難であると認められる者 ・成績基準・家計基準あり ・卒業後、6か月以内に岐阜県内に居住かつ就業し、5年間継続することにより、返還が免除される制度あり	120名				
4月	直接応募	（一財）神山財団	給付	200,000円／年間（年一回の一括支給）	2年間を限度		○ 1年生			35歳未満	絵画		○			・大学院で絵画（油絵・水彩画・日本画・アクリル画・テンペラ画・フレスコ画・版画など、具象が望ましい）を制作している修士課程1年生であること ・当財団主催の成果展に出展すること ・奨学生に認定された後、自身のプロフィールに「当財団からの支援経歴」を記載すること ・将来的に美術を通じて日本社会の発展に貢献する志を持っていること	20名程度				
4月	直接応募	（公財）交通遺児育英会 大学院　在学募集（10月まで）・予約募集（1次8月、2次1月まで）	貸与	50,000円・80,000円・100,000円／月額から選択（無利子）	最短修業年限まで		○ 進学者含む	○ 進学者含む		応募時25歳まで（当会高校奨学生だった者は29歳まで）		併用可		○		・保護者等が道路における交通事故で死亡したり、著しい後遺障害のため働けず、経済的に修学が困難な学生 ・学力・保護者の収入基準なし ・一人の奨学生への貸与期間・貸与総額の上限は9年間・812万円	20名				
4月	直接応募	（公財）交通遺児育英会 大学　在学募集（10月まで）	貸与	40,000円・50,000円・60,000円／月額から選択（無利子）	最短修業年限まで	○				応募時25歳まで（当会高校奨学生だった者は29歳まで）		併用可		○		・保護者等が道路における交通事故で死亡したり、著しい後遺障害のため働けず、経済的に修学が困難な学生 ・学力基準なし ・収入基準あり（3人世帯の目安：給与所得者940万円、給与所得以外520万円） ・一人の奨学生への貸与期間・貸与総額の上限は9年間・812万円	学部300名				高校予約者1名採用
4月	直接応募	CWAJ視覚障害学生奨学金 【翌年度支給】	給付	1,500,000円／年額	1年間	○ 2年生以上	○	○				100万円を超える給付奨学金との併用不可		○	○	・身体障害等級表による級別1-6級の視覚障害者 ・日本国籍あるいは日本国特別永住権をもち、出願時に日本に在住する者 ・学部生は、2018年3月までに国内の4年制大学の2年を終了していること ・大学院生は、2018年3月までに国内の4年制大学を卒業し、奨学金支給期間中（2017年3月～2018年3月）に国内の大学院に学位取得のため在学すること ・これまでにCWAJから奨学金を受けたことのある者およびCWAJのメンバーは応募不可	2名				
4月	直接応募	富山県奨学金返還助成制度	返還補助	10年間就業：返還額全額助成			○ 2年生				理工系					・日本学生支援機構第一種奨学金または富山県奨学資金の貸与を受けている者 ・応募時、理工系大学院修士（博士前期）課程2年に在学 ・大学院修了後、登録企業（募集案内参照）に就業を希望する者 ・個人情報（住所、氏名、年齢、性別、在籍学校名、連絡先等）を登録企業へ提供することを承諾する者 ・大学院修了後、平成29年4月末日までに登録企業（募集案内参照）へ就業していること	記載無				
4月	直接応募	山口県奨学金返還補助制度	返還補助	通算8年以上従事：貸与を受けた2年間分の返還額全額	就業後10年間		○ 1年生				工学、理学、農学、薬学					・応募時点で日本学生支援機構の第一種奨学金の貸与を受けている（申請している）者 ・応募時点で、修士（博士課程前期）1年に在籍している者 ・修士（博士前期）課程を修了した年の翌年4月末日までに、山口県内の製造業に就業することを希望する者	20名程度（うち薬剤師枠5名程度）				
5月	大学推薦	新潟県大学奨学金《新潟県》	貸与	41,000円／月額（無利子）	最短修業年限まで	○						日本学生支援機構第一種奨学金との併用不可	○	○		・新潟県内に居住する者の子弟で学部生 ・1年生：高校の成績評定が平均3．5以上 ・2年生以上：申込時までの大学の成績で「良」以上が全履修科目数の50%超 ・保護者の収入基準あり	72名程度	学内選考無	0名	0名	0名
5月	大学推薦	石川県育英資金《石川県》 【緊急採用】	貸与	44,000円／月額（無利子）	採用決定から採用年度末まで （継続申請あり）	○						日本学生支援機構との併用不可		○		・保護者が石川県内に現に引き続き3年以上居住していること ・家計が急変した者（主たる家計支持者の解雇、早期退職、再就職したが収入が著しく減少、死別、離別、破産、病気、事故、会社倒産、経営不振、火災、風水害、震災等の災害等） ・願書は随時受付	5名以内	学内選考無			
5月	大学推薦	福井県大学院奨学生 【在学採用】《福井県》	貸与	修士：84,000円／月額（無利子） 博士：117,000円／月額（無利子）	最短修業年限まで		○	○				併用不可	○	○		・福井県内に在住する者の子弟 ・日本学生支援機構の奨学生の基準を満たしていること ・選考にあたっては新入生を優先する	若干名	学内選考無	0名	0名	0名
5月	直接応募	大田区奨学生《大田区》	貸与	35,000円以内／月額（無利子）	最短修業年限まで	○							○	○		・太田区役所福祉部福祉管理課援護係の窓口にて願書等を配付 ・貸付を開始する日の1年前から引き続き大田区内に居住している保護者等に扶養されていること ・世帯の所得制限あり（詳細は大田区ウェブサイト参照） ・5段階評価で学業成績が概ね平均3．0以上であること ・再入学者は対象外	85名程度				
5月	直接応募	北九州市奨学金返還支援事業	返還補助	最大540,000円（年額180,000円を上限）に交付）※返還残高が540,000円を下回る場合、返還総額を上限とする。	就職2～4年目	○	○	○								・以下の条件を全て満たす者 ・平成30年3月～平成32年3月に学部または大学院を卒業（修了）し、市が認定する企業等（HP参照）に幹部候補（総合職、研究職、開発職、技術職）または保育士、幼稚園教諭、介護福祉士の職で正規に就職予定の者 ・日本学生支援機構奨学金または自治体等の公的な貸与型奨学金の返還予定者または返還中の者 ・卒業または修了後、北九州市に居住する者	300名				
5月	直接応募	山梨県ものづくり人材就業支援事業費補助金	返還補助	通算8年間勤務：卒業前2年間の貸与額（上限）		○	○	○			理学部、工学部もしくはこれらに準ずる学部・研究科（学府）					・日本学生支援機構第一種奨学金の貸与を受けている者 ・平成29年度中に卒業（修了）予定の者 ・平成30年9月末までに対象業種企業（詳細は募集要項参照）における、企画・開発、製造部門への就職を希望している者 ・平成30年4月初日を起点とした10年間に、8年間以上山梨県内に勤務し、かつ県内に定住する見込みであること	18名				
6月	大学推薦	（一社）大学女性協会	給付	一般奨学生：200,000円／1回限り 社会福祉奨学生：学部生100,000円、院生200,000円／1回限り	1回限り	○ 福祉奨学生（2年生以上）	○ 2年生	○				日本学生支援機構との併用可	○			・一般奨学生：大学院に在籍1年以上の女子学生 ・社会福祉奨学生：学部・大学院に在籍1年以上の女子学生で身体に障害のある者（身体障害者手帳の交付を受けていること） ・過去に当協会の奨学金を授与された者は再度応募することはできない ・在籍年数に休学期間は含まない ・翌年2月に現在の大学に在籍であること	一般6名 福祉3名以内	一般1名 福祉1名	6名	1名	0名
6月	直接応募	大分県奨学金返還支援事業	返還補助	6年間で最大122万4千円（各年度ごとに補助限度額あり）		○	○	○								・在学中に日本学生支援機構奨学金、大分県奨学会奨学金、大分県の母子・父子・寡婦福祉資金（修学資金）、大分県社会福祉協議会の生活福祉資金（教育支援資金の教育支援費）鹿児島県育英財団大学等奨学金のいずれかの貸与を受けた者 ・平成30年、平成31年、平成32年の3月に卒業（修了）後、4月30日までに大分県内の中小製造業または中小情報サービス業の「研究者」、「開発技術者」、「製造技術者」、「情報処理・通信技術者」のいずれかの職種で正規雇用され、6年間継続して就業する見込みの者 ・卒業（修了）年度の9月30日までにおおいた「学生登録」で補助金交付希望を届け出すること					
7月	大学推薦	（公財）栗原奨学財団	給付	20,000円／月額	最短修業年限まで	○ 1年生							○	○		・学業・人物ともに優秀で、かつ健康であり、学資の援助を受けることが必要であると認められる者	5名以内	2名	2名	1名	0名
7月	大学推薦	（一財）種とまと財団 【翌年度支給】	給付	学部：50,000円／月額 修士：80,000円／月額	最短修業年限まで	○ 4年進学者	○ 進学者				理工系	民間奨学金との併用不可（日本学生支援機構奨学金は併用可）	○	○	○	・日本国籍を有し、理工系大学の学部3年生で4年生へ進級が見込まれる者または4年生で学内の修士（博士前期）課程へ進学が決定している者 ・対象分野は、工学系、理学系、情報系（医・歯学系、看護・保健・福祉系、薬学系、農学系、文系は対象外）とする ・財団が開催する報告会等に必ず出席できる者	30名	1名	9名	1名	0名
7月	直接応募	とちぎ未来人材応援奨学金支援助成金	返還補助	8年間継続勤務する見込みであること 学部：3.4年次貸与分の全額（上限150万円） 修士：1.2年次貸与分の1/2（上限100万円）	平成31年度から8年間	○ 3年生	○ 1年生								○	・日本学生支援機構第一種奨学金または栃木県育英会一般奨学金の貸与を受けている者 ・平成29年4月1日時点で、学部3年、修士（博士前期）課程1年に在学している者 ・学部卒業・大学院修了後、、栃木県内に定住を希望している者 ・学部卒業・大学院修了後、栃木県内に本社、本店、支社、支店、事業所等が所在する製造業（大企業の場合は県内に本社機能を有する場合に限る）に就職を希望する者	50名				
7月	直接応募	徳島県奨学金返還支援制度	返還補助	（1）無利子奨学金借受総額の1/2または返還残額のいずれか低い額（上限：100万円） （2）有利子奨学金または（1）以外に対象と認める借受総額の1/3または返還残額のいずれか低い額（上限：70万円） ※（1）（2）両方の奨学金貸与を受けた場合は、（1）により算定した額（70万円に満たない場合は、（2）を合算して上限70万円）		○	○	○								・日本学生支援機構第一種奨学金または第二種奨学金の貸与を受けている（いた）者（日本学生支援機構奨学金以外については、貸与基準が日本学生支援機構奨学金に準じる要件のもとし、個別に判断する） ・学部、大学院に在籍する平成30年度卒業（修了）予定者および平成29年度以前卒業（修了）者（予定を含む） ・平成30年度卒業予定者および平成29年度卒業予定者にあっては大学卒業後、既卒者にあっては平成30年4月以降に県内事業所に正規職員として就業を希望する者（公務員を除く） ・県内に定住することを希望し、かつ既卒者にあっては県外から移住する年齢30歳までの者 ・学部、大学院を修業年限以内で卒業・修了した（する見込み）の者 ・奨学金返還を滞納していない者 ・一定の県内就業を返還免除要件とする公的貸付制度を利用していない者 ・一定の県内就業を給付要件とする公的給付制度を利用していない者	100名程度				

【平成29年度　日本人等民間奨学金リスト】

※　このリストは、平成29年度に学内で募集実績のあった奨学金一覧です。今年度も必ず募集があるとは限りません。また、募集条件も変更になる可能性もありますので、必ず募集要項等で詳細を確認してください。
※　奨学財団から募集依頼がある度に、掲示板および学生支援課ウェブサイトでお知らせしています。

案内のあった時期	申請方法	奨学会等名	給付／貸与	金額（円）	受給期間	出願資格等											全体での採用者数	大学推薦枠	学内申請者数	大学推薦者数	大学採用者数
						課程				年齢	専門分野	併用条件	学力優秀	経済困難	面接	その他の主な要件					
						学部	修士	博士	研究生												
7月	直接応募	三重県地域と若者の未来を拓く学生奨学金返還支援事業	返還補助	在学中に借受予定の奨学金総額の1/4を支援（上限100万円） ※卒業（修了）後、就業しかつ指定地域に4年間居住した場合に助成金額の1/3を交付し、8年間居住した場合に残額を交付		○	○	○							○	・日本学生支援機構第一種奨学金またはこれに準ずる奨学金の貸与を受けていること ・申請時に最終学年の1年前の学年以上（学部3年生以上、大学院修士（博士前期）課程1年生以上に在籍し、かつ就職先が決まっていない者 ・県の規則で定める地域（募集要項参照）への定住を希望する者 ・常勤雇用または個人事業主等として就業する予定の者（公務員は除く） ・平成29年3月31日時点で35歳未満の者	20名				
8月	大学推薦	（公財）帝人奨学会 帝人久村奨学生（博士課程） 【翌年度支給】	貸与	100,000円／月額（無利子）	最短修業年限まで			○ 進学者含む			理工学系、工学系、バイオ学系、情報学系、医・薬学系	併用可	○		○	・今年度秋または翌年度4月に博士課程に進学することが決定している、または見込まれている大学院生 ・専門面接あり ・修了後、財団指定の大学や研究機関等で学術研究活動に貸与期間の2倍の期間従事した場合には返還が免除される制度あり	10名程度（うち1名程度は留学生）	2～3名 （留学生含む）	1名	1名	1名
8月	大学推薦	福島県奨学資金《福島県》 【追加募集】	貸与	35,000円／月額（無利子）	最短修業年限まで	○						貸与奨学金との併用不可	○	○		・福島県内の高校を卒業した者で、住所を移転するまで県内に引き続き6か月以上住所を有していること、または県外の高校を卒業し、卒業月に福島県奨学資金を受けていた者 ・1年生：高校時の最終2カ年の評定が平均3．0以上 ・2年生以上：申込時までの大学の成績が本人の所属する学部の平均水準以上 ・家計基準が所定の基準以下	18名程度	学内選考無	0名	0名	0名
8月	直接応募	（公財）似鳥国際奨学財団 【翌年度支給】	給付	【自宅生】50,000円／月額 【自宅外生】80,000円／月額	1年間（一部成績優秀者は更新の可能性有）	○						貸与奨学金のみ併用可	○	△	○	・学業・人物ともに優秀であり、健康であり、国際理解と国際間の友好親善に寄与できる者 ・採用された場合、財団主催の交流会への出席、毎月の奨学生レポートの提出が必要（交流会へ欠席、奨学生レポート提出の遅れ、提出がない場合は、奨学金が停止、もしくは打ち切りとなる） ・休学、海外留学した場合は、奨学金が停止、もしくは打ち切りとなる	最大50名				
8月	直接応募	（公財）山田長満奨学会 【翌年度支給】	給付	120,000円／月額	1年間	○	○	○		35歳未満		併用可	○		○	・2018年4月現在、国内に居住する者 ・毎月指定の奨学金給付日（第2金曜日）に直接受け取りに来られる者 ・過去に当財団の奨学金を受給していた者は応募不可	6名				
8月	直接応募	旭川市若者地元定着奨学金返済補助事業	返還補助	旭川市に定着している期間内に返還金として返済した金額の2分の1※3年間を限度として年度ごとに補助、1年度あたりの補助上限額あり		○	○	○								・学部、大学院に在学中で平成29年度に卒業（修了）予定の者（平成28年度卒業者も対象） ・平成30年度に旭川市内に就職し、その後3年以上を経過するまで市内定着（市内での就業及び居住）する意思のある者 ・在学中に日本学生支援機構第一種奨学金を借りている者					
8月	直接応募	山形県若者定着奨学金返還支援制度【市町村連携枠2次募集、産業団体等連携枠】	返還補助	26,000円×支援対象の月数、又は奨学金の返還残高のいずれか低い額		○	○	○								・学部、大学院修士（博士前期）課程に在学中又は進学予定の者 ・卒業（修了）6か月以内に山形県内で定住・就業し、3年以上継続する見込みの者 ・支援対象の産業分野（商工、農林水産、建設、医療・福祉等）に就業希望の者 ・日本学生支援機構第一種奨学金または第二種奨学金、市町村が実施する奨学金、企業等が指定する奨学金（産業団体等連携枠のみ）の貸与を受けている者	市町村連携枠：150名、産業団体等連携枠：最大50名				
8月	直接応募	いわき市未来につなぐ人材応援奨学金返還支援事業	返還補助	在学中に貸与を受けた奨学金の2分の1の額 ※ただし、（64,000円×奨学金貸与月数）の2分の1の額または1,536,000円のいずれか少ない額を上限とする		○	○	○								・学部、大学院に在学中で平成30年度に修業年限以内で卒業（修了）予定の者 ・在学中に日本学生支援機構奨学金、いわき市奨学資金、福島県奨学資金の貸与を受けている者 ・卒業（修了）した翌月1日から起算して6か月以内に市内事業所等（詳細は募集要項参照）に正規職員又は所定労働時間が正規職員に準じる職員として就職することを予定している者 ・卒業（修了）後、いわき市内に定住することを予定している者	50名程度				
9月	大学推薦	（公財）林レオロジー記念財団 【翌年度支給】	給付	学部：30,000円／月額 修士：50,000円／月額	最短修業年限まで	○ 3,4年進学者	○ 1,2年進学者				食品産業に関する学問	併用可	○			・「食品産業に関する」学問の習得または学術研究を志す者で、理学部・工学部系（機械・精密・システム工学・IT技術等）もしくは農水産学部・生命科学部系等 ・翌年度4月に学部3年もしくは学部4年に進級する者、または、修士（博士前期）課程の1年に進学を希望する者、または、修士（博士前期）課程の2年に進級する者 ・前年度応募者および前年度奨学生であっても応募資格を有する	学部15名程度 修士25名程度	学部2名 修士2名	学部3名 修士3名	学部2名 修士3名	学部1名 修士2名
9月	大学推薦	（公財）浦上奨学会 ≪広島県≫ 【翌年度支給】	貸与	5万・6万・7万・8万円／月額のうちから選択（無利子）	最短修業年限まで		○ 進学者	○ 進学者				併用可	○	○		・広島県出身者で翌年度4月に大学院に入学する者 ・最短修業年限で修了した場合、返還額を半額免除する制度あり	記載無	1名	0名	0名	0名
9月	直接応募	（一財）高久国際奨学財団 【翌年度支給】	給付	100,000円／月額	1年間			○ 進学者含む				併用不可	○		○	・翌年度4月時点で博士後期課程に在籍または翌年度4月以降の入学が許可されており、合格証明書、入学許可書等、入学の内定を証明できる書類のいずれかを提出できる日本国籍を有する者 ・国際理解と親善に関心を持ち、貢献を意図する者 月例会（月に1回、土曜日）に必ず出席できる者 ・月末に400字のレポートを必ず提出できる者	約3名				
9月	直接応募	（公財）沖縄県国際交流・人材育成財団≪沖縄県≫【追加募集】	貸与	学部：45,000円／月額（無利子） 修士：70,000円／月額（無利子） 博士：80,000円／月額（無利子）	最短修業年限まで ※1年毎の継続審査あり	○	○	○				貸与奨学金との併用不可	○	○		・沖縄県内に住所を有する者の子弟（両親又はいずれかが沖縄県内に住民登録していること） ・成績が特に優秀な女子学部生1名は「ひめゆり同窓会奨学生」として採用されることがある	学部16名程度 院若干名				
9月	直接応募	（公財）本庄国際奨学財団 【翌年度支給】	給付	※学位取得までの最短年限にあたる期間で以下から選択 （1）月額20万円を1～2年間 （2）月額18万円を3年間 （3）月額15万円を4～5年間	学位取得までの最短修業年限まで		○ 進学者含む	○ 進学者含む	○	修士：1987年3月31日以降、博士：1982年3月31日以降に生まれた者		併用不可	○		○	・翌年4月以降に大学院に在籍している者、または入学を予定している者 ・専門職大学院は原則対象外だが、研究計画書を提出できる場合は応募可能 ・奨学金受給中のアルバイトは不可。（TA、RA等は可など、一部例外あり） ・奨学金受給中は、ほぼ毎月面談あり ・財団主催行事へ積極的に参加・協力ができる者 ・大学院修了後、母国において仕事をする意思のある者	3～5名				
10月	大学推薦	（一財）小堀雄久学生等支援会 【後期募集】	貸与	40,000円／月額（無利子）	最短修業年限まで	○	○				理工系（医学系を除く）		○	○		・家計扶養者の年間収入（税込）は、1,000万円以下であること ・経済的な理由により、学資の援助を必要とする者 ・在籍大学の大学院へ進学する場合は、更新手続きを経て支給継続可	3名	3名	0名	0名	0名
10月	大学推薦	岐阜県選奨生奨学金 ≪岐阜県≫【2次募集】	貸与	32,000円／月額 （※日本学生支援機構奨学金貸与者は16,000円／月額）	継続審査あり （10月からの貸与）	○						岐阜県高等学校奨学金、岐阜県子育て支援奨学金、岐阜県高等学校定時制課程通信制就学奨励費貸付金、課程、母子及び父子並びに寡婦福祉法による修学資金との併用不可	○	○		・岐阜県内に住所を有する者の子弟（本人のみ岐阜県内に住所を有する場合は該当しない） ・修学に十分耐え得る健康状態であること、経済的理由により修学が困難であること。 ・日本学生支援機構の奨学金を併せて受ける場合は、減額給付 ・成績基準：1年生一前最終学年3.5以上、2年生以上一全学年平均成績良以上	記載無	学内選考無	0名	0名	0名
10月	直接応募	フィックスターズ奨学金	給付	600,000円／年額	1年間 ※再申請により継続受給が可能	○	○	○							○	・学部、大学院の修士（博士前期）課程、博士後期課程に在籍（進学予定者含む）している学生で在籍学部・大学院、専攻および国籍は不問。ただし、計算機科学、情報工学、電気電子工学、またはそれらに関連する化学、物理学、数学領域などSTEM分野を志望する学生を対象とする ・選考においては、習得している情報技術の水準、研究テーマのユニークさ、将来ビジョン等を総合的に判断する ・主要関連技術（アルゴリズム関連、システムソフトウェア関連、ハードウェア関連）に関するテーマ（募集案内参照）については加点評価する ・奨学金の支給に当たっては、研究状況等につき本社で現状報告すること	10名程度				
10月	直接応募	（公財）ヨネックススポーツ振興財団 【翌年度支給】	給付	学部：50,000円以内／月額 院：60,000円以内／月額	1年間	○	○	○		申請時満30歳未満	体育学等					・大学又は大学院に在籍し、体育学等を専攻する学生、またはスポーツを積極的に行う学生で、スポーツを通じて明るく豊かで活力に満ちた社会の実現に寄与し、他の範となる者 ・以下のいずれかを満たしていること 1専攻するスポーツ種目において、自他共に認める力量を有していること 2青少年スポーツ振興のための指導者を目指していること ・採用された場合、活動報告書（年2回）の提出義務あり	記載無				
10月	直接応募	アメリア・イアハート奨学金 【翌年度支給】	給付	US$10,000/1回	1年間			○					○			・航空宇宙科学関連または航空宇宙工学関連の分野の大学院博士課程に入学が決定しているか、在籍している成績優秀な女性の大学院生。 ・博士課程を少なくとも1年間修了しているか、申請時点で航空宇宙学分野で修士号を取得していること。 ・2019年4月以前に修了しないこと。博士研究員の応募は不可。	全世界から35名				
10月	直接応募	山梨県ものづくり人材就業支援事業費補助金	返還補助	通算8年間勤務：卒業前2年間の貸与額（上限）		○	○	○			理学部、工学部もしくはこれらに準ずる学部・研究科（学府）					・日本学生支援機構第一種奨学金の貸与を受けている者 ・平成29年度末卒業（修了）予定者 ・平成31年9月末までに対象業種企業（詳細は募集要項参照）における、企画・開発、製造部門への就職を希望している者 ・平成31年4月初日を起点とした10年間に、8年間以上山梨県内に勤務し、かつ県内に定住する見込みであること	35名				
10月	直接応募	鹿児島県奨学金返還支援制度 【平成30年度卒業（修了）予定者募集】	返還補助	大学在学中に借り受けた奨学金の全額		○	○	○							○	・日本学生支援機構第一種奨学金または鹿児島県育英財団大学等奨学金の貸与を受けている（いた）者 ・鹿児島県内の高等学校等を卒業した者または鹿児島県内に生活の本拠を有する者の子等で県内の中学校を卒業した者 ・大学または大学院に在学し、平成31年3月（平成30年度中を含む）に大学等を卒業（修了）予定の者 ・卒業（修了）後、県内企業等に就業する意志があり、かつ県内居住を希望する者 ・鹿児島県が実施する修学資金（へき地等勤務医師等修学資金、県看護職員等修学資金、鹿児島県獣医師確保対策修学資金）の貸与を受けている（いた）者は重複して応募不可	20名程度				
11月	直接応募	旭化成奨学生	貸与	第1種100,000円／月額 第2種50,000円／月額 ※面接に合格し、結果により第1種、第2種を決定する	最終学年の1年間		○	○			化学・化学工学・機械・土木・建築・制御・電気・電子・強電・物理・情報・生物・薬学・農学・医学・獣医学など				○	・大学院の修士（博士前期）課程、博士後期課程に在籍しており、2018年4月～2019年3月までに修了する者 ・旭化成株式会社に入社した場合は返済免除規定あり	30名程度 （第1種10名、第2種20名）				
11月	直接応募	秋田県奨学金返還助成制度	返還補助	一般分：年返還額の2/3（上限133,000円） 未来創生分：年返還額の10/10（上限200,000円）	奨学金貸与期間が3年を超える場合3年間、2年以上3年以下の場合2年間	○										・日本学生支援機構第一種奨学金および第二種奨学金、秋田県育英会の大学月額奨学金等、その他県が別に定める奨学金（募集要項参照）の貸与を受けている者 ・平成29年4月1日以降に秋田県内に定住の意思を持って居住していること ・平成29年4月1日以降、秋田県内で就労していること ・既卒者も平成28年4月1日以降、居住、就労などの要件を満たせば応募可能 ・上記の応募資格を満たす者は一般分の対象となり、一般分の対象者で県が指定する特定業種認定企業等（詳細は募集要項参照）に就職する者が対象となる					
12月	大学推薦	＜H30～H32年度募集なし＞ （公財）大林財団	給付	50,000円／月額	翌年度4月～3年間	○ 2年生				22歳以下		日本学生支援機構、学内奨学金のみ併用可	○	○	○	・就業経験のない者（アルバイト除く） ・都市に関連ある分野の実業、実務又は学術研究に将来従事しようとする者（学部・専攻問わず） ・人物、学業、健康ともに優れている者 ・経済的な理由で就学が困難な者（税込の世帯年収が800万円未満、退職金等の臨時収入含まず） ・奨学生交流会、授与式、修了式等、財団の行事に必ず出席できる者	20名程度	2名	6名	1名	1名
12月	直接応募	（公財）東亜留学生育友会	給付	30,000円／月額	1年間		○	○							○	・大学院の正規課程に在籍している日本人学生 ・他の奨学金を15万円以上受給していないこと ・月例会に毎月（月1回、原則第日曜日に開催、奨学金を手渡し）出席可能であること	若干名				
1月	大学推薦	（公財）浦上奨学会≪広島県≫ 【春季募集】	貸与	5万・6万・7万・8万円／月額のうちから選択（無利子）	最短修業年限まで		○ 進学者	○ 進学者				併用可	○	○		・広島県出身者で翌年度4月に大学院に入学する者 ・最短修業年限で修了した場合、返還額を半額免除する	記載無	1名	0名	0名	0名
1月	大学推薦	（公財）松藤奨学育成基金 ≪長崎県≫	貸与	42,000円／月額（無利子）	最短修業年限まで	○						併用可	○	○		・長崎県内に住所を有する者の子弟 ・交通事故によって家計の支持者または保護者が死亡または重度の後遺障害のため就業不能となった、または経済的理由によって進学あるいは修学の継続が著しく困難である者 ・成績優秀（5段階評価で概ね3．3以上）、品行方正で身体強健である者 ・交通遺児は、貸与した奨学金の半額を返還免除	記載無	記載無	0名	0名	0名
1月	大学推薦	（一財）岩崎ともみ奨学財団 【翌年度支給】	給付	30,000円／月額	1年間	○ 2年生以上						併用可	○	○	○	・平成30年2月現在、学部2年生の者 ・学業成績優秀かつ学費の支弁が困難である者 ・採用後、奨学財団が指定する銀行に自身で普通預金口座を開設できる者 ・財団指定行事への出席を優先できる者 ・面接あり	30名	1名	11名	1名	1名
1月	大学推薦	（公益信託）萬谷記念かながわ奨学基金	給付	修士：800,000円／年額 博士：1,200,000円／年額	最短修業年限まで		○ 1年生	○ 1年生			理学・工学	併用不可	○	○		・家族の生計を支える者の前年度の年収または本年度の見込みが原則税込700万円以下 ・独身者	5名程度	3名	9名	3名	1名
1月	大学推薦	（公財）帝人奨学会 帝人久村奨学生（修士課程） 【進学後支給】	貸与	80,000円／月額（無利子）	最短修業年限まで		○ 進学者				理工学系、工学系、バイオ学系、情報学系、医・薬学系	併用可	○		○	・今年度秋または翌年度4月に修士課程に進学することが決定している、または見込まれる大学院生 ・専門面接あり ・修了後、財団指定の大学や研究機関等で学術研究活動に貸与期間の2倍の期間従事した場合には返還が免除される制度あり	10名程度（うち1名程度は留学生）	3～5名 （留学生含む）	2名	1名	結果通知は、2018年6月下旬
1月	直接応募	日東紡奨学生	貸与	第1種50,000円／月額（無利子） 第2種100,000円／月額（無利子）	学部1年間、院2年間（最短修業年限まで）	○ 4年生	○	○			化学・化学工学・機械・制御・電気・電子・強電・物理・生物・薬学・農学・医学など	併用可			○	・平成30年4月現在、学部4年生、大学院博士課程前期および後期課程に在籍する者 ・所属研究室教授の推薦を受けられる者 ・面接あり	第1種5名程度 第2種5名程度				
1月	直接応募	山形県若者定着奨学金返還支援制度【地方創生枠】	返還補助	26,000円×支援対象の月数、又は奨学金の返還残高のいずれか低い額		○	○									・山形県内に居住し県内の県内の高等学校、特別支援学校高等部、専修学校高等課程を卒業（卒業見込みを含む）し、学部、大学院修士（博士前期）課程に在学中又は進学予定の者 ・卒業（修了）6か月以内に山形県内に居住・就業し、3年以上継続する見込みの者 ・支援対象の産業分野（商工、農林水産、建設、医療・福祉等）に就業希望の者 ・日本学生支援機構第一種奨学金の貸与を受けている者又は希望する者	100名				
1月	直接応募	山形県若者定着奨学金返還支援制度【産業団体等連携枠】	返還補助	26,000円×支援対象の月数、又は奨学金の返還残高のいずれか低い額		○	○	○								・山形県内の高校、特別支援学校高等部又は専修学校高等課程の卒業者 ・学部、大学院修士（博士前期）課程に在学中で平成31年3月以降卒業（修了）の者 ・卒業（修了）後6か月以内に山形県内に居住し、3年間以上継続する見込みの者 ・卒業（修了）後、対象分野（詳細は募集要項を参照）ごとの指定就業先に就業希望の者 ・日本学生支援機構第一種奨学金または第二種奨学金、山形県内市町村が実施する奨学金の貸与を受けている者	募集要項参照				
2月	大学推薦	（公財）旭硝子奨学会	給付	修士：40,000円／月額 博士：100,000円／月額	最短修業年限まで		○ 1年生	○ 1年生			化学系・機械又は電気	修士：併用可 博士：日本学生支援機構のみ併用可	○			・品行方正、学業優秀、健康と認められ、真に奨学金を必要とする者 ・社会人学生は不可 ・秋入学も応募可能だが、支給期間が約半年短くなる	修士15名 博士15名	修士1名 博士1名	修士7名 博士2名	修士1名 博士1名	修士0名 博士0名
2月	大学推薦	JT国内大学奨学金	給付	自宅：50,000円、自宅外：100,000円／月額 入学料300,000円、授業料270,000円×2回 自宅外生のみ入学一時金300,000円	最短修業年限まで	○ 1年生				20歳未満		7月以降の併用不可	○	○	○	・世帯収入が、給与の場合は年収400万円未満、給与以外の場合は所得200万円未満、給与と給与以外の両方の場合は合算した金額が400万円未満 ・7月以降、他からの奨学金を受けない者（貸与型奨学金、授業料免除、一時金等の併用も不可） ・在籍大学の修士（博士前期）課程への進学を希望し、かつ進学理由や学業成績が優れた奨学生については、別途申請の上、最長2年間、同額の支給を継続する ・アンケートへ等への回答、及び寄付者が主催する行事に参加すること	10名程度	1名	5名	1名	0名 高校予約者1名採用
2月	大学推薦	（公財）古河記念基金	給付	30,000円／月額	最短修業年限まで （最長6年）	○ 2年生以上	○	○			理工系（特に金属その他資源関係）を優先		○	○	○	・金属その他資源関係の学生を優先とする ・学業成績や取得単位数が優秀であり、卒業までの進級が十分見込めること ・家計の経済状況が、年収900万円を超えないこと（税込み、年金収入および兄姉の収入は算入しない）	記載無	1名	3名	1名	1名
2月	大学推薦	（公益信託）松尾金蔵記念奨学基金	給付	1,000,000円／年額	最短修業年限まで		○ 1年生	○ 1年生		30歳以下	文学・哲学（宗教学・美学・美術史を含む）・言語学・人文地理学・文化人類学・教育学・心理学・社会学・史学（法・経を除く人文社会）	併用不可	○	○		・修士：家計支持者の前年度収入または本年度見込みが原則税込800万円以下 ・博士：本人の前年度収入または本年度見込みが原則税込250万円以下	10名程度	修士1名 博士1名	修士1名	修士1名	0名

【平成29年度　日本人等民間奨学金リスト】

※　このリストは、平成29年度に学内で募集実績のあった奨学金一覧です。今年度も必ず募集があるとは限りません。また、募集条件も変更になる可能性もありますので、必ず募集要項等で詳細を確認してください。
※　奨学財団から募集依頼がある度に、掲示板および学生支援課ウェブサイトでお知らせしています。

案内のあった時期	申請方法	奨学会等名	給付／貸与	金額（円）	受給期間	出願資格等											全体での採用者数	大学推薦枠	学内申請者数	大学推薦者数	大学採用者数
						課程				年齢	専門分野	併用条件	学力優秀	経済困難	面接	その他の主な要件					
						学部	修士	博士	研究生												
2月	大学推薦	（公財）吉田育英会　マスター21 【進学後支給】	給付	1奨学金80,000円／月額　または 学校納付金　奨学期間内に合計250万円以内の実費 2海外研究活動支援奨学金 奨学期間内に合計50万円以内の実費	修士（博士課程前期）入学月から2年以内	○ 4年生				27歳未満	自然科学系	給付奨学金との併用不可	○		○	・秋季または翌年度春季に、日本の大学院修士（博士前期）課程に進学予定の者（他大学への進学も可） ・面接あり ・奨学生証授与式、懇親会、新規採用者交流会等財団主催行事への参加あり	15名	1名	7名	1名	0名
2月	大学推薦	（公財）吉田育英会　ドクター21 【進学後支給】	給付	1奨学金200,000円／月額 2学校納付金 奨学期間内に合計250万円以内の実費 3海外研究活動支援 奨学期間内に合計100万円以内の実費	博士課程後期入学月から3年以内		○ 2年生			30歳未満	自然科学系	給付奨学金との併用不可	○		○	・修士（博士前期）課程在学中で秋季または翌年度春季に日本の大学院博士後期課程に進学予定の者（他大学への進学も可） ・面接あり ・奨学生証授与式、懇親会、新規採用者交流会等財団主催行事への参加あり	5名程度	2名	3名	2名	0名
2月	直接応募	（公財）芸備協会≪広島県≫	貸与	20,000円／月額（無利子）	最短修業年限まで	○	○	○				併用可	○	○	○	・広島県の高等学校を卒業し、東京都内並びにその周辺の大学（大学院を含む）に在学の者 ・収入状況は、日本学生支援機構の収入基準額に準じる ・学習状況は、日本学生支援機構の成績条件に準じる					
2月	直接応募	（公財）常磐奨学会 ≪いわき市、北茨城市およびその周辺地域≫	貸与	30,000円／月額（無利子） 理系：35,000円／月額（無利子）	最短修業年限まで	○							○	○	○	・福島県いわき市、茨城県北茨城市およびその周辺地域居住者の子弟 ・筆記試験・面接あり	15名程度				
2月	直接応募	（公財）戸部眞紀財団	給付	50,000円／月額（年額600,000円） 併給（返済義務なし）の場合は半額となる場合がある	1年間	○ 3,4年生	○	○		30歳以下	化学・食品科学・芸術学・体育学／スポーツ科学・経営学	併用可 （ただし支給額減少）	○	○		・化学・食品科学・芸術学・体育学/スポーツ科学・経営学の分野で修学している者（専門職学位課程は対象外） ・向学心に富み、学業優秀であり、かつ、品行方正である者 ・学資の支弁が困難と認められる者 ・採用された場合は財団が行う交流会に出席すること ・支給期間終了後、当該年度実績等を審査し、1年間を限度に継続を認める場合あり	40名				1名
2月	直接応募	（公財）朝鮮奨学会	給付	学部：25,000円／月額 修士：40,000円／月額 博士：70,000円／月額	1年間	○ 2,3,4年生	○	○		学部：満30歳未満 院：満40歳未満		貸与奨学金、本奨学金と同額未満の給付奨学金、学内奨学金との併用可	○	○	○	・韓国人、朝鮮人学生（特別永住者等（永住者、定住者、家族滞在などを含む）、特別永住者証明書・在留カードの国籍表示が韓国もしくは朝鮮） ・学部生、大学院生は1学年から応募できる。ただし、法科大学院の未修コース（3年制）に限り、2学年以上の者 ・成績が優良で学費の支弁が困難な者 ・採用された場合は、財団主催の諸行事に必ず出席できること	学部762名 院115名 （前年実績）				1名
2月	直接応募	（公財）日本通運育英会	貸与	自宅：15,000円／月額（無利子） 自宅外：20,000円／月額（無利子）	最短修業年限まで	○ 1,2年生						併用可	○	○		・学術優秀、品行方正、身体強健でありながら経済的理由により修学が困難な者	66名				
2月	直接応募	（一財）佐々木泰樹育英会 【法曹志望大学生を対象とした奨学金】	給付	300,000円／年額（月額・給付型）	2018年4月～ 大学4年次まで ※大学在学中に限る	○				21歳以下 （4/1時点）	法曹		○		○	・法曹を志し、在学中に司法試験もしくは司法試験予備試験に合格した学部生で次の全てに該当する者 ・考え方が優れている者 ・公正かつ自由な社会の実現に寄与するという高い志と正しい考えを備えた弁護士になることを目指す者 ・首都圏（東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県）を拠点に就業を予定し、後に首都圏で開業を目指す者 ・奨学金給付通知授与式に必ず出席できる者、財団主催イベント等に原則出席できる者	若干名				
2月	直接応募	（一財）佐々木泰樹育英会 【建築写真を専攻する者を対象とした奨学金】	給付	学部：300,000円／年額（月額・給付型） 大学院：1,000,000円／年額（月額・給付型）	2018年4月～ 2019年3月まで ※大学在学中に限る	○	○	○		29歳以下 （4/1現在）	写真		○		○	・日本国籍を有し、学部・大学院において写真を専攻する者で次の全てに該当する者 ・建築写真の分野で優れた感性と知識がある者 ・建築写真を通じて、社会の発展に寄与するという高い志と熱意を有する者 ・東京都を拠点に建築写真家として独立を志している者 ・奨学金給付通知授与式に必ず出席できる者、財団主催イベント等に原則出席できる者	若干名				
2月	直接応募	（一財）佐々木泰樹育英会 【グラフィックデザインを専攻する者を対象とした奨学金】	給付	学部：300,000円／年額（月額・給付型） 大学院：1,000,000円／年額（月額・給付型）	2018年4月～ 2019年3月まで ※大学在学中に限る	○	○	○		29歳以下 （4/1現在）	グラフィックデザイン		○		○	・日本国籍を有し、学部・大学院においてグラフィックデザインを専攻する者で次の全てに該当する者 ・グラフィックデザインの分野で優れた感性と知識がある者 ・優れた作品を通じて、社会の発展に寄与するという高い志と熱意を有する者 ・グラフィックデザイナーとして独立し、東京都にて自ら開業を志している者 ・奨学金給付通知授与式に必ず出席できる者、財団主催イベント等に原則出席できる者	若干名				
2月	直接応募	（一財）佐々木泰樹育英会 【学生起業家を対象とした奨学金】	給付	学部：300,000円／年額（月額・給付型） 大学院：1,000,000円／年額（月額・給付型）	2018年4月～ 1年間 ※大学在学中に限る	○	○	○		26歳以下 （4/1現在）			○		○	・2018年4月現在、次の全てに該当する者 ・考え方が優れている者 ・公正かつ自由な経済活動の発展に寄与するという高い志と熱意を有する者 ・首都圏（東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県）に法人本店登記をしている学生起業家 ・奨学金給付通知授与式に必ず出席できる者、財団主催イベント等に原則出席できる者	若干名				
2月	直接応募	（一財）佐々木泰樹育英会 【建築（構造設計・設備設計を含む）を専攻する者を対象とした奨学金】	給付	学部：300,000円／年額（月額・給付型） 大学院：1,000,000円／年額（月額・給付型）	2018年4月～ 2019年3月まで ※大学在学中に限る	○	○	○		29歳以下 （4/1現在）	建築（構造設計・設備設計を含む）		○		○	・日本国籍を有し、学部・大学院において建築（構造設計・設備設計を含む）を専攻する者で次の全てに該当する者 ・考え方が優れている者 ・建築学及び構造設計一級建築士・設備設計一級建築士として独立し、東京都にて自ら建築士事務所の開業を志している者（組織設計事務所、建築会社、不動産開発業者等への勤務を希望する者を除く） ・奨学金給付通知授与式に必ず出席できる者、財団主催イベント等に原則出席できる者	若干名				
3月	大学推薦	YNU大澤奨学金	給付	50,000円／月額	最短修業年限まで ※1年毎の継続審査あり ※修士課程継続あり	○ 2年生						給付奨学金との併用不可	○	○	○	・学部2年生で、学力優秀かつ経済的理由により修学が困難な者 ・引き続き横浜国立大学の修士（博士前期）課程に進学する場合は修士（博士前期）課程2年間も支給 ・採用された場合、大学が主催する奨学生の交流会等に必ず参加できる者	4～5名	---	32名	7名	5名
3月	大学推薦	YNU竹井准子記念奨学金	給付	50,000円／月額	最短修業年限まで ※1年毎の継続審査あり	○ 1年生						給付奨学金との併用不可	○	○	○	・学部1年生で、母子父子家庭または両親のいない家庭の日本人女子学生 ・学力優秀かつ経済的理由により修学が困難な学生 ・採用された場合、大学が主催する奨学生の交流会等に必ず参加できる者	3名	---	14名	5名	3名
3月	大学推薦	（公益信託）日新製糖奨学育英基金	給付	30,000円／月額	最短修業年限まで	○ 3,4年生					理・工学系	併用可	○	○		・東京都内に居住する者 ・学業・人物ともに優秀かつ健康な学生であって、経済的事情により修学の継続が困難と認められる者 ・奨学生に採用された場合、贈呈式、懇親会に出席すること	15名	1名	3名	1名	1名
3月	大学推薦	（一社）イハラサイエンス夢創造支援センター	給付	20,000円／月額	最短修業年限まで （上限2年間）	○ 3年生					工学部系、文系学部	併用可	○	○		・3年に在籍する工学部系、文系学部の学生 ・学業・人物ともに優秀であり経済的事情により修学が困難であると認められる者 ・「ものづくり」に関心があり、将来も「ものづくり」に夢や想いを持って関わっていきたいという意欲を持つ者 ・採用された場合、初年度実施の財団主催懇談会に参加できる者	15名程度	1～3名	3名	2名	1名
3月	大学推薦	（公財）伊勢丹奨学会	給付	30,000円／月額	最短修業年限まで	○ 1年生					商業、経済、経営関係学部	併用可	○	○	○	・高等学校最終2カ年の評定平均値3．5以上の者 ・日本学生支援機構奨学金に準じた経済収入基準あり ・採用された場合、財団行事への出席が可能な者	10名	2名	3名	2名	1名
3月	大学推薦	（公財）アイザワ記念育英財団	給付	学部：30,000円／月額	最短修業年限まで （上限2年間）	○ 3,4年生						日本学生支援機構のみ併用可	○	○	○	・学部3,4年生で、学業優秀、品行方正かつ素直で積極性があり、経済的理由により修学が困難であると認められる者 ・レポート提出、研修会・懇親会参加が必ずできること ・海外留学者（交換留学等）は申請不可（留学する予定のない者） ・将来、産業・文化両面において社会に貢献しようと志す者	記載無	1名（H29は追加推薦枠1名あり）	7名	2名	2名
3月	大学推薦	（公財）小原白梅育英基金	給付	50,000円／月額	最短修業年限まで	○ 1年生				21歳まで		日本学生支援機構のみ併用可	○	○	○	・日本学生支援機構第一種奨学金の経済基準内であること ・高校の評定平均3．5以上 ・奨学生の集い等財団主催行事に必ず参加できる者 ・染髪、髭、男子の長髪は不可 ・社会人として勤務経験のないことが望ましい	27名程度	2名	9名	2名	2名
3月	大学推薦	（一財）佐藤定雄国際奨学財団	給付	30,000円／月額 （初年度4～7月分を8月に、8月以降は2か月ごとに支給）	2年間	○ 2,3年生					理工系又はスポーツに励む者（全学部対象）	併用可	○	○		・理工系の学部に通う学生で、品行方正、志操堅固、健康で学業成績が優秀な者又はスポーツに励んでいる（全学部対象。全国大会レベル程度の戦績がある）者 ・年収基準が父母の年収合計が税込800万円未満、就学中の兄弟姉妹が本人含め3人以上の場合は、年収1,000万円未満を目途 ・採用された場合、財団が実施する行事に参加するとともに、原則として年に1度の面接に応じることができる者	15名程度	4名	3名	3名	1名
3月	大学推薦	（一財）小堀雄久学生等支援会	貸与	40,000円／月額（無利子）	最短修業年限まで	○	○				理工系（医・薬学系を除く）		○	○		・家計扶養者の年間収入（税込）は、1,000万円以下であること ・経済的な理由により、学資の援助を必要とする者 ・在籍大学の大学院へ進学する場合は、更新手続きを経て貸与継続可	記載無	4名	1名	1名	1名
3月	大学推薦	（公財）樫山奨学財団	給付	40,000円／月額	最短修業年限まで （継続審査あり）	○ 1年生						日本学生支援機構、地方公共団体奨学金との併用可	○	○	○ 推薦者	・再入学者、夜間の学部に在学する者は応募不可 ・学業・人物ともに優秀で、かつ修学可能な心身を持ち学資の援助を受けることが必要であると認められる者 ・採用された場合は財団が主催するオリエンテーション、各種行事、面談等に必ず出席できる者	41名	1名	5名	1名	1名
3月	大学推薦	（一財）鷹野学術振興財団	給付	50,000円／月額（年間600,000円）	1年間	○ 1～3年生	○ 1年生				科学技術関係専攻	日本学生支援機構、学内奨学金のみ併用可	○			・科学技術関係（電気電子工学、光学関連、画像処理関連、機械工学、物理学、情報工学、材料工学、化学関連、医療機器関連、健康・福祉関連、環境・エネルギー関連、農学・機能性食品等）を専攻している者 ・卒業後は製造業への就職を希望している者 ・過去に当財団の奨学生に採用されたことがない者 ・採用された場合、東京で行う奨学生決定通知書授与式に必ず出席できる者	若干名	指定なし	4名	4名	0名
3月	直接応募	（一財）鷹野学術振興財団	給付	50,000円／月額（年間600,000円）	1年間	○ 1～3年生	○ 1年生				科学技術関係専攻	日本学生支援機構、学内奨学金のみ併用可	○			・科学技術関係（電気電子工学、光学関連、画像処理関連、機械工学、物理学、情報工学、材料工学、化学関連、医療機器関連、健康・福祉関連、環境・エネルギー関連、農学・機能性食品等）を専攻している者 ・卒業後は製造業への就職を希望している者 ・過去に当財団の奨学生に採用されたことがない者 ・採用された場合、東京で行う奨学生決定通知書授与式に必ず出席できる者	若干名				
3月	大学推薦	JEES日本語教育普及奨学金（検定）	給付	50,000円／月額	最長2年間 （在籍期間中に限る）	○	○	○				月額60,000円以下の給付奨学金、貸与奨学金との併用可				・平成29年4月1日時点において、学部または大学院に正規生として在学し、日本語指導者を目指す者 ・平成28年度に実施した日本語教育能力検定試験に合格した者 ・採用された場合の受給期間が平成29年4月より1学年相当以上ある者 ・採用された場合、他の奨学金の受給を目的として辞退することはできない	30名程度	上限なし	0名	0名	0名
3月	大学推薦	（公財）フジシールパッケージング教育振興財団	給付	学部：50,000円／月額 大学院：60,000円／月額	最短修業年限まで ※各学年進級時に継続審査あり	○ 3年生	○ 1年生				応用化学（ﾌﾟﾗｽﾃｨｯｸ製品）、機械工学、電気電子工学、高分子工学、ﾃﾞｻﾞｲﾝ関係	日本学生支援機構のみ併用可	○			・向学心に富み、学業優秀であり、かつ、品行方正であるもの ・パッケージに興味、関心のあるもの ・チャレンジ精神が旺盛で国際感覚を持つもの ・年に1,2回、財団主催の研究会に出席すること	20名	学部1名 修士1名	修士4名	修士1名	0名
3月	大学推薦	（一財）野崎わかば会	給付	30,000円／月額	1年間	○ 3年生					理工学部　数物・電子情報系学科		○	○		・成績優秀かつ人物に優れ、経済的に学業の継続が困難と認められる者で、かつ本法人の目的に合致する者 ・情報化社会のさらなる発展に向けた人材の育成および教育環境の充実を目的とする ・採用された場合、認定証授与式へ出席すること ・年3回、奨学金受領書および近況報告用紙の提出あり	記載無	1名	1名	1名	1名
3月	大学推薦	（公財）日揮・実吉奨学会	給付	30万円／年額（一括支給）	1年間	○	○	○		原則30歳未満	理工系	併用可	○	○		・日本学術振興会特別研究員採用者でないこと ・申請は1回1年度限り ・過去に当会の奨学金を受給した者は応募不可 ・人物、学力ともに優れ、かつ健康であって、経済的に当会の奨学金の給与が必要であると認められる者 ・採用後、面談あり	記載無	7名	学部16名 院30名	学部2名 院5名	学部2名 院5名
3月	大学推薦	（公財）中部奨学会	給付／貸与	学部生：給付・貸与35,000円／月額 修士：給付・貸与60,000円／月額 博士：給付60,000円／月額	最短修業年限まで	○	○	○				併用可	○	○		・人物、学業ともに特に優れ、健康にして経済的理由により著しく修学が困難な者	学部：給付2名、貸与8名 修士：給付2名、貸与4名 博士：給付6名	学部、修士、博士それぞれ1～3名まで	学部16名 修士21名 博士5名	学部1名 修士2名 博士3名	0名
3月	大学推薦	（公財）日本証券奨学財団	給付	学部：自宅35,000円／月額、自宅外45,000円／月額 修士：自宅40,000円／月額、自宅外50,000円／月額 博士：自宅45,000円／月額、自宅外55,000円／月額	最短修業年限まで	○ 2年生	○ 1年生	○ 1年生		学部22歳以下 修士25歳以下 博士28歳以下	推薦人員2名中1名は社会科学系の法・経系専攻者が望ましい	日本学生支援機構のみ併用可	○	○	○	・収入制限あり ・一定の職業に従事していない者 ・推薦者2名中1名は社会科学系の法・経専攻者が望ましい ・財団の各種行事等に必ず出席できる者	60名	2名	学部6名 院13名	2名	2名
3月	大学推薦	宮崎県育英資金≪宮崎県≫	貸与	自宅外：下記の3つの区分から選択 50,000円／月額（無利子） 38,000円／月額（無利子） 25,000円／月額（無利子）	最短修業年限まで	○						日本学生支援機構、母子及び父子並びに寡婦福祉法による修学資金との併用不可	○	○	○ 推薦者	・本人の生計を主として維持する者が宮崎県内に居住していること ・向学心に富み優れた資質を有しながら経済的理由により修学が困難であること	予算の範囲内	学内選考無	0名	0名	0名
3月	大学推薦	（公財）山口県ひとづくり財団≪山口県≫	貸与	43,000円／月額（無利子）	最短修業年限まで	○						併用不可	○	○		・保護者が山口県内に住所を有している者 ・卒業後、山口県内の企業等へ就職し、山口県内に定住（継続して5年以上山口県内に住所を有すること）する意思のある者に対して「定住促進奨学金　月額貸与10,000円」を加算することも可	記載無	学内選考無	0名	0名	0名
3月	大学推薦	（公財）みずほ育英会	貸与	学部：50,000円／月額（無利子） 大学院：60,000円／月額（無利子）	最短修業年限まで	○	○	○				日本学生支援機構のみ併用可	○	○	○	・保護者年収目安900万円以下 ・毎月上旬にみずほ育英会事務局で直接奨学金を交付（首都圏在学者のみ） ・毎年学業成績および生活状況報告書を提出 ・財団主催行事への参加あり ・貸与奨学生のうち、主たる家計支持者の事情により、著しく学資の支弁が困難と認められた者に対しては、選考委員会の審議を経て理事長が決定したうえで給付奨学金（学部生30,000円/月額、大学院生40,000円/月額）が支給される可能性がある	若干名	2～3名	学部2名 院2名	院1名	院1名
3月	大学推薦	（公財）三菱UFJ信託奨学財団	給付	35,000円／月額	最短修業年限まで	○ 原則2年生				満23歳以下	経済学部、経営学部、理工学部	併用可 （財団に届出必要）	○	○		・父母の税込年収合計800万円未満（ただし、就学中の兄弟姉妹が本人を含め3人以上の場合、税込年収1千万円未満） ・財団主催行事への出席を優先できる者 ・将来、民間企業・官公庁・学校等に勤務して、産業・文化面で活動し社会に貢献しようと志す者、またはこれらの活動に関連する学術の研究を志す者 ・年1回、大学において財団との面談あり	記載無	2名	8名	2名	2名
3月	大学推薦	川崎市大学奨学生≪川崎市≫	貸与	38,000円／月額（無利子）	最短修業年限まで	○ 1年生							○	○		・保護者が川崎市に1年以上居住していること ・学資の支弁が困難であること ・学業成績が優良で性行が善良であること	10名程度	学内選考無	0名	0名	0名
3月	大学推薦	（公財）宮崎県奨学会 ≪宮崎県≫	貸与	25,000円／月額（無利子）	最短修業年限まで	○ 1年生						給付奨学金との併用可	○	○		・宮崎県に本籍を有する者または本人の主たる生計維持者が宮崎県内に居住している者 ・優れた学生で経済的理由により修学困難な者 ・在学生で希望する場合は個別に問い合わせ	5名程度	学内選考無	0名	0名	0名
3月	大学推薦	（公財）村井順記念奨学財団	給付	学部生：30,000円／月額	最短修業年限まで	○ 1年生					工学系	日本学生支援機構のみ併用可	○	○		・神奈川県内の大学において、工学系の学部で学ぶ学生 ・学業優秀、品行方正、身体強健でありながら、経済的理由により修学が困難な学生 ・財団主催行事（原則年1回）には参加して意識高揚に務めること	10名程度	若干名	2名	2名	2名
3月	大学推薦	（一財）ダイオーズ記念財団	給付	10,000円／月額	最短修業年限まで	○ 2年～4年生	○	○		学部23歳以下 院33歳以下		併用可	○	○	○	・前年度までの成績GPA3.00以上 ・世帯合計所得、給与収入の場合600万円未満、給与収入以外340万円未満 ・年2回の報告会に必ず出席できる者	20名程度	学内選考無	学部3名 院1名	4名	0名
3月	直接応募	（公財）沖縄県国際交流・人材育成財団≪沖縄県≫	貸与	学部：45,000円／月額（無利子） 修士：70,000円／月額（無利子） 博士：80,000円／月額（無利子）	最短修業年限まで ※1年毎の継続審査あり	○	○	○				貸与奨学金との併用不可	○	○		・沖縄県内に住所を有する者の子弟（両親またはいずれかが沖縄県内に住民登録していること） ・成績が特に優秀な女子学部生1名は「ひめゆり同窓会奨学生」として採用されることがある ・成績が特に優秀な大学院生は「㈱琉球銀行又は㈱沖縄銀行委託給与奨学生」として採用されることがある	学部72名程度 院9名程度				
3月	直接応募	公益信託池田育英会トラスト ≪愛媛県≫	給付	17,000円／月額 （7月・1月に10万2千円を給付）	最短修業年限まで	○ 2年生以上	○	○				併用可	○	○		・愛媛県内の高等学校を卒業した者、または保護者が愛媛県内に居住している者 ・学業、人物ともに優秀で、経済的支援の必要な者 ・推薦者（担当教員等）経由で結果を通知 ・年度修了後に報告書の提出	4名				

【平成29年度　日本人等民間奨学金リスト】

※　このリストは、平成29年度に学内で募集実績のあった奨学金一覧です。今年度も必ず募集があるとは限りません。また、募集条件も変更になる可能性もありますので、必ず募集要項等で詳細を確認してください。
※　奨学財団から募集依頼がある度に、掲示板および学生支援課ウェブサイトでお知らせしています。

案内のあった時期	申請方法	奨学会等名	給付／貸与	金額（円）	受給期間	出願資格等											全体での採用者数	大学推薦枠	学内申請者数	大学推薦者数	大学採用者数
						課程				年齢	専門分野	併用条件	学力優秀	経済困難	面接	その他の主な要件					
						学部	修士	博士	研究生												
3月	直接応募	(一財)トヨタ女性技術者育成基金	貸与	600,000円／年額(実質無利子)	在学期間中 (留年は不可)	○ 1年生 編入3年生					工学系	併用可	○		○	・学部1年生の女性、または高等専門学校から編入し学部3年生として在学する女性 ・当基金の主旨に賛同し、将来製造業社でものづくりに関わる女性エンジニアとして、活躍していく意欲、熱意のある者 ・当基金又は参加企業が主催する育成プログラムに参加できる者 ・卒業後、対象会社の採用試験を受け、対象会社に入社または他の参加企業に入社した場合は全額免除、他の参加企業以外の製造業社に入社した場合は半額免除の元金返済免除制度あり	118名				1名
3月	直接応募	(公財)似鳥国際奨学財団	給付	【自宅生】50,000円／月額 【自宅外生】80,000円／月額	1年間(1～3年生更新の可能性有)	○						貸与型のみ併用可	○	△	○	・学業・人物ともに優秀であり、健康であり、国際理解と国際間の友好親善に寄与できる者 ・採用された場合、財団主催の交流会への出席、毎月の奨学生レポートの提出が必要(交流会へ欠席、奨学生レポート提出の遅れ、提出がない場合は、奨学金が停止、もしくは打ち切りとなる) ・休学、海外留学した場合は、奨学金が停止、もしくは打ち切りとなる	100名				
3月	直接応募	上越学生寮奨学生 《上越市、妙高市、糸魚川市》	貸与	学部：70,000円／月額(無利子) 大学院：100,000円／月額(無利子)	貸付決定月(6月)から最短修業年限まで	○	○	○				併用可	○			・上越市、妙高市、糸魚川市のいずれかに3年以上住所を有した者で、かつ、そこに所在する中学校または高等学校を卒業した者	学部5名 院2名 (前年実績)				
3月	直接応募	(公財)東電記念財団 【翌年度支給】	給付	50,000円／月額(年4回の分割払)	最短修業年限まで(最長3年)			○ 進学希望者含む		28歳未満(翌4/1現在)		日本学生支援機構等の公的な奨学金との併用可	○			・翌年度に博士後期課程への進学を予定している者 ・現在、博士後期課程1年または2年に在学中で、翌年度に進級を予定している者 ・同一年度内に当財団の他の募集との併願はできない ・現在、当財団の助成を受けていない者 ・採用後、受給開始以降留学する場合、原則としてその期間は給付を停止する(帰国後、申請により修業年限までの給付再開は可能)	5名程度				
3月	直接応募	(一財)日本教育文化財団	給付	20,000円／月額(年間240,000円)	最短修業年限まで	○ 1年生				25歳以下		併用可	○	○		・日本国籍を有する学部1年生 ・学業優秀かつ品行方正であり、経済的理由により学費の支弁が困難であること	10名				
3月	直接応募	和歌山県奨学金返還助成制度	返還補助	奨学金返還金に相当する額(最大1,000,000円)	参画企業に就職し3年勤務後	○	○	○			理工系、情報系				○	・以下の全てに該当する者 ・日本学生支援機構奨学金またはその他の貸与型奨学金(知事が認めるもの)の返還予定者または返還中の者 ・理工系、情報系の学部・研究科(学府)に在籍し、平成31年3月卒業(修了)予定の者 ・対象企業(和歌山県労働政策課HP参照)が実施するインターンシップまたは企業説明会に参加予定の者 ・卒業(修了)後、対象企業に継続して3年間以上勤務することを予定している者	50名				
随時	大学推薦	(公財)長崎県育英会 《長崎県》 【熊本地震災害被災奨学生】	貸与	41,000円／月額(無利子)	最短修業年限まで	○						日本学生支援機構との併用不可		○		・熊本地震災害で学生又はその保護者が被災を受け、経済的理由により就学が困難な者 ・長崎県内に住所を有する者の子弟で、大学等に在学する者(大学院を除く) ・成績要件、所得要件ともに問わない ・り災証明書の提出が必要(写しでも可) ・願書は随時受付		学内選考無			